

## 第2回東区まちづくり懇話会議事録(要旨)

- 1 開催日時  
平成25年8月20日(火) 午後2時00分～午後5時00分
- 2 会場  
熊本市東区役所1階101・102会議室
- 3 出席委員(順不同)  
澤田委員、山田委員、中島委員、村上委員、島委員、古閑委員、  
田代委員、下川委員、山野委員、劔羽委員、早田委員、大隈委員、  
西原委員、吉村委員 計14名出席
- 4 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 報告事項  
①東区まちづくりビジョン事業体系について
  - (3) 議事  
議題1 協議項目の提案  
(1) 東区まちづくり予算事業(継続分)及び報告事業について  
(2) 課題新規対応策について  
議題2 協議  
(1) 東区まちづくり予算事業(継続分)及び報告事業について  
議題3 その他

議事録(要旨) 次のとおり

## 議事録（要旨）

### 議題1 協議項目の提案

○会長代理

議題1 協議項目の提案、(1) 東区まちづくり予算事業(継続分)及び報告事業について、(2) 課題新規対応策について、事務局より説明をお願いします。

■事務局

説明

(1) 東区まちづくり予算事業(継続分)及び報告事業

協議項目

- ①地域情報提供の充実
- ②東区民が交流の輪を広げる取り組みの推進
- ③地域コミュニティ活動への理解と地域住民の交流の促進
- ④防災体制の充実
- ⑤校区単位の健康まちづくり
- ⑥東区まちづくりビジョンの推進

(2) 課題新規対応策

協議項目

- ①将来に残したい、伝えたい歴史・文化の活用
- ②子育てネットワークの開催など、地域全体で子どもの成長を支え、安心して子育てができる環境づくり
- ③地域での介護予防の取り組み
- ④高齢者を地域全体で見守り、支え合う体制の充実
- ⑤若手農業者のネットワークづくり

○会長代理

事務局から説明のあった(1)「東区まちづくり予算事業(継続分)及び報告事項」、  
②「課題新規対応策」について、協議事項として提案する。何か意見・質問等はあるか。  
(意見・質問等なし) それでは(1)、(2)について協議項目とする。

### 議題2 協議

○会長代理

協議に入る。本日は(1)の東区まちづくり予算事業(継続分)について意見をいただきたい。

まず、協議項目「地域情報提供の充実」について意見・提案をいただきたい。

○委員

広報サポーター制度の現況について教えていただきたい。

■事務局

広報サポーターは5月に募集し、17名の方が参加している。各出張所で昼の部、夜の部に分けて講座を行う。講座は全8回を計画しており、11月頃に共同の研修を行いたいと考えている。

○委員

全校区に1人ずつ参加者がいるということではないのか。

■事務局

参加者の校区は18校区中13校区になる。

○委員

各校区から育てていくといいと思う。

○会長代理

広報サポーターというのは、どのようなサポートをしていただけるのか。

■事務局

校区自治協議会等につなぐ機会を設けて、地域の広報誌作成やWebでの情報発信、区への地域情報の提供等を考えている。

○会長代理

自治会の皆様は、情報発信についていろいろと苦勞していると思うが、実際にはどういった状況か。

○委員

課題のひとつである自治会未加入者が増えた背景として、ごみ処理方法について自治会が情報を流さなくてもよくなったことと、市政だよりが市から直接配布になったことが大きな要因のひとつになっている。それに勝る情報を自治会に準備できるかということ非常に厳しい状況にある。その点について、市からご指導いただきたい。

■事務局

ごみ処理や市政だよりについては、平等に情報を得るといった側面もあり、自治会を通さないとできないというのはおかしいといった意見もある。そういったことをふまえ

て現在の体制となっている。ごみ問題については、地域課題検討会の中で具体的な解決策を見つけていきたいと考えている。

○委員

私の校区では新聞を出しているが、作成するためのコピー機が公民館には無いので、東区役所の公民館にカラーコピー機を入れてもらえないか。

■事務局

まちづくり交流室に、白黒ですが有料の印刷機を設置しており、誰でも利用いただける。

○委員

今の時代、カラー印刷でないと見てもらえない。有料でも構わないから対応していただけないか。

■事務局

要望として、今後検討したい。

○委員

先程のサポーター養成の件については、養成後の役割を明確にすべき。例えば、出張所から広報誌を出すといったことを目標とするなどして進めてはどうか。

■事務局

情報発信の主体は地域であると思う。地域を支援するための広報サポーターなので、広報誌、Web 作成等で困っているところを助けるというのが基本である。情報発信についても地域課題検討会での項目になっており、細かく協議をしていただきたい。

○会長代理

広報サポーター制度については、学び終わった後にどのように活動するのか、地域のどのような方々とマッチングしていくのかといった点をつめて、サポーター育成を行っていかないと、ただ学んで終わりということになる。

○委員

地域の広報を専門にやっていく人を育てていけば良いと思うが、単に人を集めて勉強させるだけでなく、その人たちを活用していかなければ意味のないものになる。

#### ○会長代理

意見を集約すると、広報サポーター制度を系統的に位置づけて、コミセン単位、校区単位にするといったイメージである。制度として始まったばかりなので、今後どのように地域とマッチングし、活用していくのかという点では、何らかのミッションを持たせる等の検討が必要である。

#### ■事務局

広報サポーター育成後は、校区自治協議会に引き合わせる等を考えている。紹介をして、実際に地域の広報に携わっていただく予定。サポーター育成後の活用については、つめたうえで報告する。

#### ○委員

情報提供はどれだけあっても不足という意見が出てくる。おそらく10代、20代前半の人はラインの情報しか見ない。若い世代は新聞の情報もほとんど取ってない。30代、40代の方はフェイスブックからの情報が多い。広報サポーターはコミセン、地域等とマッチングしていただいてお互い利点を補えるような活動をしていただきたい。自治会の未加入者の話がありましたが、子供会も減っている。情報が伝わらないということを前提とした情報発信が課題となってくると思う。

#### ○会長代理

協議項目「東区民が交流の輪を広げる取り組みの促進」について意見・提案をいただきたい。

#### ○委員

取り組みとして、東区民まつり、東区長杯小学校交流サッカー大会があがっているが、それに対する区民の交流等の意識調査のようなものは、今後行う予定はあるか。

#### ■事務局

サッカー大会は既に終了しているが、地域課題検討会の中で、自治会、各種団体に対してアンケート調査をする予定である。その中で、東区に対する要望等をお尋ねしたい。

#### ■事務局

区民まつりについては、これから開催となるので、意識調査等を含めたうえで事業を進めたい。

○委員

社会体育といったものが、コミュニティの積極的な要素になっていくと思う。サッカー大会を主催しているのが、なぜ、まちづくり推進課であるのか。社会体育課（スポーツ振興課）ではないのか。社会体育課（スポーツ振興課）は区の組織ではないのか。

■事務局

社会体育課（スポーツ振興課）は市の組織だが、区の組織ではない。直接スポーツとは関係ないが、まちづくり推進課が青少年の健全育成という観点から行っている。

○委員

社会体育といった、地域の中で子供から大人までという方向性がないように感じる。地域コミュニティのビジョンを見据えているのであればいいと思う。サッカー大会もいいと思うが、積極的な地域づくりの大きな要素になりうると思うので、大会運営をするだけでなく、できれば施設作りまで応援したい。

■事務局

今回はサッカーを行ったが、他競技等についても、選択肢の1つとなるので、生涯スポーツという観点も含めたところで、今後、検討すべきと考える。

○委員

文化的なことも取り組んでいただきたい。

■事務局

区民まつりにおいて、文化的な部分について紹介していく計画である。

○委員

町内運動会等の既存の大会に参加を促すことが重要だと思う。区になって、新しい行事も楽しみだが、既存の大会の盛り上げ方を工夫していくといいと思う。

○会長代理

区民まつりの目的は、区民が交流し一体感を感じられるといったことが目的となっている。文化的要素や町内運動会の話も出ていたが、目的を達成するために色々と方策もあると思うので、今後検討いただきたい。

○会長代理

協議項目「地域コミュニティ活動への理解と地域住民の交流の促進」について 意見・提案をいただきたい。まず、地域課題検討会について説明をお願いしたい。

■事務局

地域課題検討会について説明

○会長代理

地域課題検討会へすべて任せてよいのか、難しいところだが、我々としても地域コミュニティ活動への理解、転入住民への地域情報の提供というテーマで、この場で意見を聞いておきたい。大隈委員、早田委員へお尋ねしたいが、現在住んでいる地域の自治会や活動について知っているか、知っているなら、どういったルートで情報を得たか教えてほしい。

○委員

回覧板を見るぐらいで、ほとんど知らない。

○会長代理

どのような情報提供があれば、もっと見るようになると思うか。

○委員

積極的に見ることは無いかもしれないが、インターネットでの情報提供のページがあれば分かりやすくなると思う。

○会長代理

フェイスブックやラインのように、どちらかといえば情報が送られてくるほうが、見る可能性は大きいということですね。

○委員

回覧板は、親が必要な情報を把握した後に回しており、見たことがほとんどない。手元に残らないので、世帯数分のチラシを回してもらえばいいのではないかと。積極性が無いのも問題だが、回ってくる情報が無いのも問題だと思う。

○会長代理

回覧板に全世帯分のチラシをつけるのは、予算の関係もあり難しいと思う。

○委員

地域課題検討会にて検討するとのことだが、検討会のメンバーは校区自治協議会の会長になるのか。

■事務局

全員が校区自治協議会の会長ということではない。会長を通じて、校区より選出している。

○委員

メンバーの年代に偏りはないか。年代によって考え方は違うので、この検討会でどういった意見や解決策が出てきているか興味がある。

■事務局

若い世代は少ない。先程も話したが、広く意見をいただくためにアンケート調査を予定している。

○会長代理

協議項目「防災体制の充実」について意見・提案をいただきたい。

○委員

私の地域では、災害時要援護者の避難訓練を行い、サポート体制ができた。今後も続けていきたい。理想としては、「向こう三軒両隣」の支援体制を構築したい。

○会長代理

皆様の地域で、災害に備えた体制づくり状況はどうなっているか。

○委員

防災対策については、現状の再点検をすべき。具体的に言うなら、現実問題として消防団がやってきたが、画図校区で言えば消防団の平均年齢が55歳となっている。30歳以下の方は5~6人しかいない。その5~6人は父親がやめたから入ったという人達であり、そうしないと消防団の定数に満たなくなる。また、その人達は別のまちに住んでいる。現状を踏まえて、消防団の役割は何かということを整理すべき。そして地域の防災は自主防災クラブが中心となって、役割分担等の見直しが必要である。

○委員

昼間は若い人達が仕事に出て行ってしまうから、残るのは老人ばかりになる。だから、地元の企業を引き込んだ校区の訓練を予定している。

○会長代理

昼間は若い人達が仕事に出てしまうから、逆に昼間、働きに来ている人達や事業所を

戦力として考えているのは、面白いアイデアだと思う。

○委員

秋の交通安全運動が始まるので、ご協力をお願いしたい。

○委員

私の地区では、災害時に地域でこういった対応ができるかということで、地域の商店や医療機関に協力できることについてアンケート調査を行い、防災マップを作成した。地域で協力して災害が拡大しないよう取り組んでいる

○会長代理

協議項目「校区単位の健康まちづくり」について意見・提案をいただきたい。

○委員

提案書の内容は素晴らしいものだと思う。ただ、私たちがどう進めていくかが、課題であり、地域の指導者を育成することが重要だと思う。

○委員

町内のラジオ体操を校区に広げていきたい。夏休みが終わると子供達も参加しなくなるため、参加者は少なくなる。

○委員

浜線健康パーク主催等で呼びかけると参加者も多い。子ども達が夏休みにラジオ体操をやるなら、大人も老人会を通すなどして呼びかけを行ってはどうか。強制ではないが具体的な対応策を検討してはどうか。

○会長代理

子供が集まれば、大人も集まるということだが、ラジオ体操は小学校ではどういった感じか。

○委員

各校区で違うと思うが、子供会主催であったり、自治会主催であったり様々である。

○会長代理

出席カードのようなものは、小学校で配布されるのか。

○委員

小学校で配布されるわけではなく、各種協会等から頂いたものを活用している。

○委員

提案書に記載のある「地域健康リーダーの発掘と養成」とは具体的にはどういうことか。

■事務局

地域の核となりうるリーダーの方に、健康の大切さをご理解いただくという取り組みを保健所を中心に行っている。

○会長代理

先程も話があった人材の育成という話に繋がっていくので、地元のニーズと行政の施策とがマッチする部分だと思う。

○委員

高齢化が進んでおり、高齢者に体操をさせなければならないと思う。子供の遊具施設はたくさんあるが、大人ぶら下がったりする器具はない。そういった面についても考えていくべき。

○委員

現在、医商連携という医療機関と商店街とのまちづくりをしている。鹿屋体育大学の協力支援による「貯筋運動」を行っており、今まで歩けなかった方が歩けるようになったり等効果が出ている。ただ、リーダーとなる方がいて、正しい運動を指導していただかないと難しい。「ささえりあ」さんをお願いして、介護事業所の方々にも習っていたり、普及活動をしながら地域の活動に貢献できないかと思っている。

○委員

熊本県は糖尿病になる方が多いと聞いている。健康まちづくりということだが、何か行き詰るような気がする。江津湖、託麻三山等の活用について、よく取り上げられているが、広いテーマで取り組むのではなく、生活習慣病であれば「糖尿病」といった感じで、テーマを絞り込んだ上で、どのように江津湖や託麻三山を活用するのかといった具体的なことを考えていったほうがいい。

## ■事務局

生活習慣病の原因のひとつに特定検診の受診率が低いことがあげられる。受診率の全国平均は32パーセント、熊本市は25パーセントとなっている。まず自らの健康状態を知ってもらうことが大切である。健康学習会を開催したり、江津湖ウォークラリーについても健康づくりの一環として開催させていただきたい。

## ○委員

乳幼児期から高齢期までの健康推進の取り組み状況の中で、課題として受診率が低いということもあるが、各校区で出来ることは、例えば、コミュニティセンターが設置されている中で、乳幼児に関しては子育てサロンを民生・児童委員さんがされており、その中で保健師さんが健診等をされている。こういった状況をいかに初期的に流せるかということだと思う。校区が世代別の地域の情報を提供しながら、認識を広めていく推進活動もあると思う。

## ○委員

私の校区では、子どもを守る会の活動をしており、下校時間の見守りをやっているが、その大部分は老人である。先日、高齢の方が辞められたが、認知症になられた。その方は活動に参加することによって、健康を維持されていたのかなと感じた。夏の暑い時期に出て行くのは大変だが、携わる人の健康を維持するといった側面もあることを知った。

## ○委員

この提案書を見ると、どの項目も素晴らしいことが書いてある。しかし実際に活動に移していくのは難しいところもある。尾ノ上校区では、各部署の方を集めて月に1回勉強会を行っている。9月には老人会、防犯、交通安全、おばパトの合同の高齢者と子どもの交通安全対策の研修会を開催する。時間のある方は、見学に来てほしい。

## ○会長代理

様々な団体が合同で勉強会を開催することによって情報交換の場になる。校区単位の健康まちづくりだけでなく、様々な課題が根っ子の部分では繋がっている気がする。様々な課題があるが、1つを対応することが、他の1つの対応にも繋がっていくと思う。

## ○会長代理

時間の都合上、東区まちづくりビジョンの推進については、次回、協議させていただく。

議題3のその他について事務局からお願いしたい。

■事務局

次回の懇話会は10月上旬を予定している。

○会長代理

以上を持って、本日の懇話会は終了する。